

光市医師会報

平成2年8月号

No. 214



浜辺の夕

光市医師会

松村晴正先生死去



平成2年7月2日
御逝去されました。
謹んで哀悼の意を
表します。

弔 辞

山口県医師会長 田村 武 男

本日故松村晴正先生の告別式に際し、謹んで御霊前に弔辞をささげます。

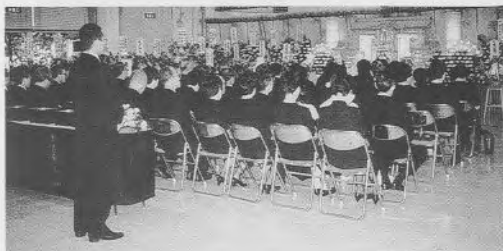
悠久極まりない自然の営みに対し人の世はあまりにもはかなく、生者必滅会者定離、生あるものの死は現世のならいとは言いながら今こうして永遠に帰らぬ旅に立たれた先生のお姿に接し、まことに惜別の情禁じがたく衷心より哀悼の意を表するものであります。

かえりみますれば先生は人の生命を預かるきびしくも尊い医師としての道にひたすら精進され、多年にわたり地域住民の医療に多大の貢献をされ、また医師会員としては会の進展、会員の福祉向上のため絶えず積極的に協力してこられました。

私ども相携えて同じ道を歩んできた者と

して先生のありし日をしのみ、数々の思い出が脳裏に甦ってまいります。さらに御遺族の方々の御心情に思いをいたすとき、御愁傷いかばかりかとお慰めすることばもありません。

ここに山口県医師会を代表して先生御生前の御功績御厚情に感謝し、心より御冥福をお祈り申しあげ、さらに御遺族の皆様の方々の今後の御平安を切にお祈りして弔辞といたします。 (代読 後克和常任理事)



弔 辞

光市医師会長 福本寿雄

新緑瑞々しい、この季節に背くかのよう
に、松村晴正先生の訃報に接し、本日ここ
にお別れの言葉を申し上げねばならないこ
とは、誠に痛恨の極みでございます。

先生には、3、4年前から体調を崩され、
入院をくり返しておられました。退院され
てはお元気な顔を拝見して安心しており
ました。今度、光市立病院に入院された
時も、又お元気で御退院されるものと信
じておりましたのに、突然の訃報に接し、
会員一同只々深い悲しみに浸るのみでござ
います。長い間手厚い看護をなされた御遺
族の皆様のお嘆きは如何ばかりかと御推
察申し上げます。顧りみますと、先生は
大正3年に生を受けられ、昭和18年京城
帝国大学を御卒業され、終戦直後昭和21
年に御当地室積に開業され、地元の人々
より親のように慕われておられました。又
光市医師会に於ても、30年間に亘り、副
会長、理事、監事、裁定委員を歴任され
、光市医師会の発展の為、尽くされました。

先生は、あまりお酒は召し上げません
でしたが、医師会の懇親会等では、いつ
もニコニコと、スマイルを振りまいて、
よく話



されました。私も韓国に住んでいたこと
もありましたので、よくソウルのお話を聞
かせて頂きました。又御自分から松村教の
教祖と称して、クランケへのムンテラにつ
いて、よく教えて頂きました。皆とよく話
したことでありますが、先生は私より1ま
わりも年上であるのに、頭は黒々として
おり、眉毛も黒々と人1倍長いのもって
きて、気持の若いのにも、いつも感心して
おりました。ですから、先生は米寿或は
白寿迄長生きされるだろうと話してお
りました。そのような若ぶりの先生が、
こんなにも早く旅立たれるとは、誰も
が信じられない気持です。幸いなこと
に、御子息様お二人が立派なお医者様
になられ、御長男が後継者として立派
にやっておられることが、せめてもの
心安まるのではないかと推察致します。
我々医師会員は、先生のスマイルを忘
れず、心を合せて地域医療に邁進する
つもりでありますので、先生どうぞ安
心して、我々を見守っていて下さい。
先生どうぞ心安らかに眠り下さい。
合掌



過ぎし日を偲んで

松村先生の思い出

富 恵 哲

医師会で一番付き合いの深いお前が、一言書く様にとの会報担当の命令だが、酒を飲まず、大人なしい先生に関して、これと云う強い思い出は無い。只、私に取っては一番、迷惑を掛けた先生と云った方が良いでしょう。その迷惑の掛け振りと、それに対する先生の寛容さを記して、先生の思い出の記としたい。

昭和35年4月、当時、下松記念病院に居た親友の正木君から、アルバイトが終って、喰えない様なら、松村先生の所を手伝はないかとの連絡で、故郷へ戻るチャンスと、埼玉より帰って来たのが、出合いの始めである。

お目に掛けて、濃い、長い眉毛のお顔が印象的であった。勤務して、2～3日経って、「今日は、血痰が出ましたから休ませて貰います」と、当時珍しい陸軍病院の白い病衣を着て、診察室に来られたのには、びっくり。古いナースに聞くと、血痰が出たり、熱が出たりすると、すぐ横になられるそうである。学生時代、肺結核で、卒業が数年遅くれたとか。その為、大事を取って居られたのであろう。当時、厚顔しく、「先生のレントゲンを見せて下さい」と云って、先生のレントゲンを見せて頂き、古い病巣ばかりなので、「先生、気管支拡張症だけで、少々、血痰が出るのは、当たり前

ですよ」と云った所、嫌な顔をされたのを憶えている。私は、余り神経質にならぬ様にとの積りだったが……。それ以来、病状の相談を受けた事がない。熱が出た、血痰が出たで、相変らず、すぐ横になられた様である。お通夜の晩、板垣院長が「僕の処方した薬は、全然飲んで居られない」と笑って喋べって居たが、長男の寿太郎君も、飲まない薬が山程有ったとか云って居られたのも昔と少しも変わらない。

当時、若かった私は、折角、勉強の機会だからと、山大水田教授の下へ、ガストロカメラを習いに出掛けた。週1回、交替に出掛けた様に記憶しているが、先生は、途中で、疲れて止められた様である。全麻の機械を買って頂き、カメラで潰瘍を見つけては、一人で麻酔を掛けて、マーゲンを切っていた。最初は、横で見られてたが、その中、先生は手術場へ出て来られず、「何かあったら、云って下さいよ」と、やり度い放題の事をやらせてくれた。30年も前の事である。古い手術記録を見ると、年間、153例の大小手術をやった事になっている。県医学会で、穿孔潰瘍の症例報告をした所、光は、特別、穿孔が多いのかと質問され、先生と二人で、苦笑いをしたのも思い出である。挿管して、手術中、アクシデントがあり、先生のお兄様の竹重先生へ、応援を

頼んでくれたのも先生である。独りで手術をする心細さを、何かあったら手伝いますと、励げましてくれた先生え、今、改めて、御礼を申し上げ度い。

毎年1~2回、中央の学会え行かせて貰った。田舎では刺激が無いからと云っては、観光を兼ねた外科学会、臨床外科学会、麻酔学会等々、随分、遊ばせて貰った。お蔭で、県の外科の長老に可愛いがって貰えた様に思う。「先生も、学会へどうぞ」とすゝめても、体が悪いからと遠出はされなかった。一度だけ、葉屋の香港ツアーへ出掛けられた事がある。ポマードの瓶の中に隠した時計だったか、宝石だったかを、お土産に貰った。「税関で取られたら阿呆らしいですからね」と笑い乍ら云はれたのが懐しい。ポマードの瓶を見る度に想い出す先生のエピソードである。

人一倍、神経質で、体調に注意されて居た先生が、咽頭の腫瘍に冒されるとは!!。

人間の運命はわからないものである。広大病院へお見舞に伺った時、放射線療法でやつれた姿で、咽頭細胞のHyperplasie、なのですと云われた。勿論、医者だから、悪性のものを考へて居られたのであろう。徐々に進行する病状に辛い想いをされたのではないかと、推察する。

お通夜の席で、しょんぼりされた竹重先生が、「あれだけ体に気をつけた彼が」と絶句されたのが、御家族の気持であらう。

幸い、寿太郎君、茂次郎君の二人が立派な医者として、父君の後を継いで、活躍されているのが、せめてもの、先生の慰めであったらうと思う。

御世話になった先生への恩返へしに、二人の良き先輩として今後を見守る事をお約束して、ペンを置き度い。

松村先生、安らかにお眠り下さい。

合掌

松村先生を偲ぶ

田村勝司

私が国立病院に勤務して間もなく、呉国立病院に約1週間、癌研修に出張を命ぜられ、当地で御世話になった指導医の1人に青木先生がおられました。

先生は城大医学部の出身で、同級に光で開業している松村先生が居られるのと耳にした事があります。

縁あって松村先生とは18年間の付き合いでしたが、京城にしばらく居られた事、又私は南朝鮮全州に16年間在住していた関係上、

酒の宴とか、車中等ではすぐ昔の話しが出てきます。

長い眉毛と、じろりとしたまなざしで保険の事、看護婦さんの事等よく御指導を戴いた1人として感謝している者です。

京城大学医学部前の昌徳宮、南山路、竜山鐘路区の危い想い出等々、私もアリラン峠、広漢樓、目鏡橋等幾回と話し合った事が、走馬燈の如く浮んで来ます。

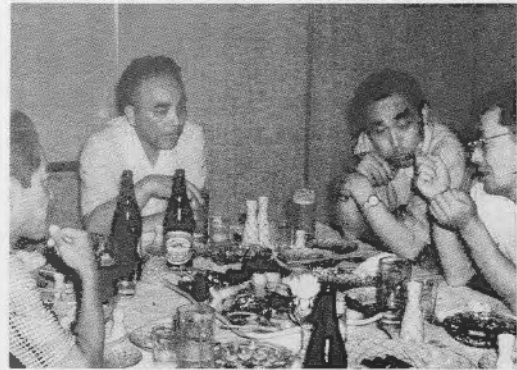
いつぞやソフトボールで、山口に試合に

行きましたが足がもつれて走れなかった事、自分は臆胸で喀痰が時にあるとか、人間愛の情熱を奥に秘めて、陰の所で精進されていた先生の姿が心に刻まれ偲ばれて来ます。

公民館でのお別れの日多き花の中からユリと菊を戴いて帰りました。

今食卓の上に白、ピンクの花が咲き乱れ、先生と縁あってお付き合いも今お別れするに当り長い間の御厚情有難う御座居ました。

先生のご冥福を心からお祈り致します。



(昭和56年7月の納涼懇親会のスナップです。光市医師会報108号の表紙の写真に使用されたものです。 田村先生提供)

弔 辞 (お別れの言葉)

松村医院職員代表 山本元子

長い間お疲れさまでした。

先生は、温容な方で、本当によく働かれましたね。ここ最近、診療時間もはっきりしていますけれど、私が、松村医院に参りました30年前は、夜も昼もなく、診察料が払いにくい患者さんでも、差をつけることなく足軽に診察や往診にと忙しい毎日でした。患者さんには親われ、神様のように思われて、顔を見ただけで満足する人も沢山おられました。時には、おじいちゃんの性格を受け継がれたのでしょうか、政治の話をしては、頭に血をのぼらせ、診察の中断もありましたね。しかし、仕事の面ではきびしく、随分叱られもしました。物は大切に事、節約する事。を教え込まれました。おかげでこれが、からだにしみ込み、今では物の有難たさが分り、心から感謝しております。

先生は、学生時代、闘病生活を長くおくられたとかで、自分のからだを、随分と愛われて、遊ぶ事もなく、お酒も、たばこも、一切のまず、気を付けられて、いましたのに、まだまだ診察をして欲しかったのに、こんなにも早く、このような事になられて、とても残念に思います。6月1日から松村医院は、寿太郎さんの名義に変わりました。この事を枕もとで知って、旅立たれたのが、せめてものなぐさめです。名残り惜しくはございますが、ここに謹んで、ご冥福を、お祈りあげますとともに、私達職員一同は、若先生のもとに、一生懸命、頑張りますのでどうぞ安らかに眠り下さい。

合掌

7 月 度 月 間 行 事 ・ 会 議

日	曜	行 事 ・ 会 議	場 所	出 席 者
8	日	第48回山口県医師大会—光医師会引受け	光市松原屋	3名(光市)
10	火	定 期 理 事 会	光市医師会館	9 名
15	日	研修会バス旅行 (第15回山口県医師会生涯研修セミナー)	山口県教育会館	バス利用者 7 名
17	火	新規開業についての協議会(室積地区)	光市医師会館	9 名
17	火	光市・下松医師会合同理事会	下松市 ホテル幾久屋	6名(光市)
17~ 20	火~ 金	国保審査委員会		富恵副会長
19	木	郡市医師会会長会議	山口県医師会館	福本会長
20	金	心電図研究会	光市立病院	8名(光市)
24	火	納涼懇親会・月例会	光市マーメイド	25 名

定例理事会

7月10日(火) 午後7時30分～

光市医師会館(光商工会議所)

(出席者)

福本会長、富恵副会長、丸岩・前田・
近藤・藤原・梅田・赤崎・吉村各理事

議 題 (報告・協議事項)

- 1) 下松医師会との合同理事会の件
(福本会長)

7月17日の合同理事会への提出議題

①平成2年度医師の報酬

②学校教職員検診の方法・金額等

③産業医の検診の金額等

④音声自動案内サービスのフロー

- 2) 音声自動案内サービスの件

(福本会長)

下松医師会合同理事会の議題とする

- 3) 中国地区学校医研修会 (福本会長)

- 4) 光市学校医研修会 (福本会長)

講師の人選→継続審議とする

- 5) 新規入会の件 (福本会長)

①河村康明先生・河村裕子先生一診療所

開設、河村医院(内科・小児科)

②金福柱先生一診療所開設、室積医院

(外科・内科・胃腸科・理学診療科)

③池田耀裕先生—光市立病院、整形外科

- 6) 従業員親睦リクリエーションについて
(梅田理事)

9月6日(休) 午後7時~10時

於 徳山マハラジャ

- 7) 光市医師会会計報告(4~6月分)

(藤原理事)

残高が194,816円で、銀行より200万円
借り入れる等一了承

- 8) 事務職員の夏期賞与について

(藤原理事)

澤江さんの夏期分は新日鉄より支給される。
秦さんは前年通りの支給額

- 9) 生涯教育研修会の報告(赤崎理事)

生涯教育研修セミナーの開催のスケジュール

7月15日、11月18日、2月17日

- 10) その他

イ) 夜間診療報告書の製本の件

ロ) 事務職員秦さんが8月4日付にて退職のため後任の入選

ハ) 山口県青年の家より「第13回遠泳にチャレンジしよう」の救護担当医の委嘱について。一強い依頼があれば今年は引き受ける。

ニ) 第8回中国四国医師会病院臨床検査センター連絡協議会の開催について

ホ) 全国有床診療所連絡協議会の件

ヘ) スポーツドクターによる講習会開催概要について

講師 富恵副会長

日時 8月9日(火)、場所 光市役所

講習内容 「成長期の子供とスポーツ活動」

ト) 秦さん退職に伴う慰労の件

チ) 日本医学会総会の件

- リ) 認定内科医の申請に係る推薦について

光市・下松医師会合同理事会

7月17日 午後7時~

於 下松市ホテル幾久屋

出席者

(光市) 福本・丸岩・赤崎・近藤・前田
梅田・吉村

(下松市) 西辻・藤原・松野・加来・沢
岡藤・竹内・野見山

(議 題)

- 1) 平成2年度の学校医及び予防接種等の執務報酬について

両医師会の間に基本的な考え、具体的な金額提示に大きな差はないようである。

- 2) 学校職員の定期健康診断に係る検査方法並びにその料金について

下松医師会では学校職員の定期健診は、学校医部会というのを設置し、その管轄下に置き内診は各学校医がおこなうが、諸検査は一括して同一施設へ依頼する。あくまで今年は方向づけという説明であったが、光医師会の学校医が各自内診と検査の一部をおこなう、検査の部分方式と、下松医師会の検査一括方式では大きな違いがある。この件に関しては施行形式にいろんな問題を含んでおり流動的である。今後も各医師会とも連絡し、継続して審議・検討の必要があるように思われる。

- 3) その他

来年度下松医師会の引き受けでおこなわれる県医学会総会が話題の中心であった。

◆ 納涼懇親会 ◆

(7月24日 午後7時～ 於 マーメイド)



丸太小屋・バンド演奏・コンパニオンのアメリカの娘さん、イタリア料理、みんな素晴らしいですね。楽しいですね。ジョキーをぐいとあげ光市医師会え乾杯。虹ヶ浜の夜は赤く燃え夜が更けてゆく。



心電図研究会(第25回)

光市・下松医師会合同
7月20日(金) 午後7時30分～
光市立病院

演題 「心電図の読み方」

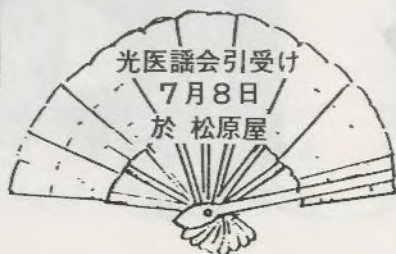
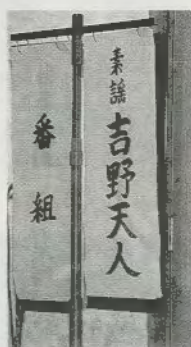
講師 徳山中央病院 河野隆任

症例

- 1) 62才・♂、主訴—左胸痛、診断—
心筋梗塞後の狭心症(左前下行枝)
- 2) 72才・♀、主訴—胸部・背部・左上
腕が締め付けられる感じ、診断—心
筋梗塞(回施枝)
血液で白血球・GOT・LDH・CP
K等が上昇したが心電図の読影が困難
であった症例。
- 3) 47才・♀、主訴—持続性左前胸部絞扼
感発作、診断—心筋梗塞(前下行枝)

連絡事項(7月24日)

- 1) 胃癌検診講習会の件
- 2) 周南三市医師会・歯科医師会と健保組合
との懇談会へ提出する会員の意見・要望等
について
- 3) 日医より医師会年金促進の件
- 4) 県医師会より医療情報システムのピデ
オの件
- 5) 夜間診療調査結果の製本ができたので、
会員に配布する。
- 6) 新規開業の件(2件)
①河村康明先生・河村裕子先生
②金福柱先生
- 7) 田尻先生送別会の件
- 8) 郡市医師会長会議の報告
- 9) 医師会事務員秦さんが退職されるため、
金一封授与。
- 10) 医師会事務員永田京子さん紹介



平成元年 夜間診療患者調査結果報告書

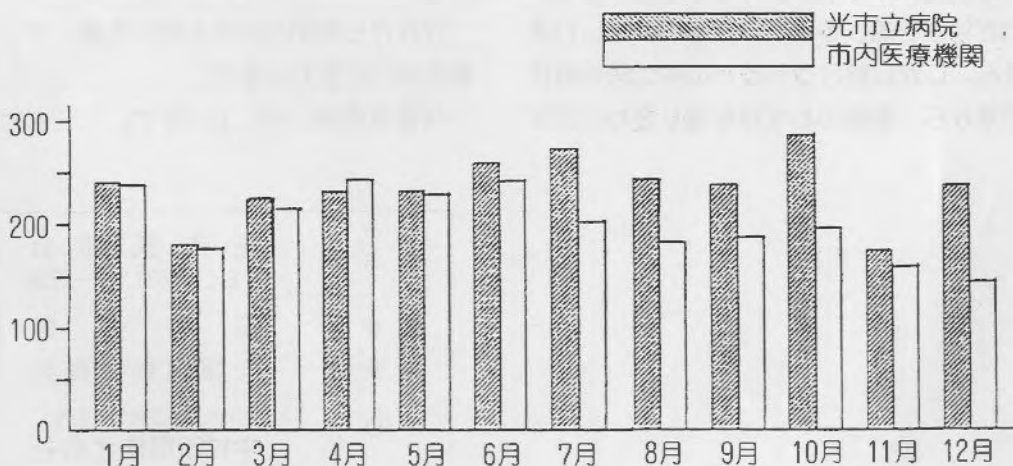
(期 間) 平成元年1月1日～同12月31日

(対象者) 上期中の午後6時～午前8時の間の受診者

(調査医療機関) 市内医療機関26ヵ所

月別夜間診療患者数

年 月	光市立病院	市内の医療機関	計
元年 1 月	243 人	242 人	485 人
2 月	177	175	352
3 月	227	220	447
4 月	231	242	473
5 月	230	228	458
6 月	253	237	490
7 月	271	201	472
8 月	243	184	427
9 月	239	188	427
10 月	285	191	476
11 月	175	157	332
12 月	237	146	383
合 計	2,811 人	2,411 人	5,222 人
1 ヶ月平均	234 人	201 人	435 人
1 日 平 均	7.7 人	6.6 人	14.3 人



医師会事務局員の変動

秦さんが8月4日付で退職されました。
ご苦労さまでした。
後任として永田京子さんが8月1日より就業されました。



永田さんです。
よろしく!!

平成2年度光市学校保健会総会

7月5日(木) 午後1時30分

光市保健センター

(総会)

(講演)

- 1) 鼻アレルギー(花粉症) 前田先生
- 2) 膝関節外傷 近藤先生
- 3) 外傷性歯牙脱臼 森本先生(歯)
- 4) 学校プールの衛生管理について 野村先生(薬)

＝ 編集後記 ＝

炎暑というのでしょうか。酷暑というのでしょうか。とにかく今夏の暑さは異常です。立秋を向えた今日も水銀柱は30℃をはるかにこえております。立秋を過ぎてても日中の気温は変わりませんが、立秋を境に最低気温が下りはじめるのだそうです。夜明けの気温が少し下るわけですから、幾分しのぎ易さを感じるようになるのかもしれませんが。しかし終日クーラーの中に居る時代ですから、季節のわずかな移り変わりに気

が付かずにいるのでしょうか。

今年5月の定時総会で福本会長が「平成元年の1年間は1人も葬儀を出すような事がなく非常によろこばしい……」と挨拶をされたばかりなのに、松村先生と悲しいお別れになりました。特長のある濃い眉毛の先生のお顔が拝見できないのは大変さびしい事です。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

立秋から季節の挨拶も暑中見舞いから残暑見舞いになります。

残暑御見舞い申し上げます。(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	福本寿雄
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社